

2019 年度後期 授業改善アンケート集計結果に対する意見

—共通教育研究センター—

共通教育研究センター長 有田 英也

全学共通教育科目は、教養科目、外国語科目、スポーツ・ウェルネス科目、IT科目、初年次向けリテラシー科目であるWRD科目、データサイエンス科目から構成されています。後期開講科目のうちアンケート実施対象科目は194科目あり、延べ9,657人が受講しています。このうちアンケート実施が必須とされる119科目のうち115科目でアンケートが実施され、延べ4,628人の回答を得ました。この場を借りて、協力いただいた受講生の皆さんに感謝します。また、貴重な授業時間を割いて授業改善のための資料を作ってくださいました先生方にも御礼申し上げます。必須科目の実施率は96.6%で、任意科目のそれは85.3%、全体として92.3%と高い数字ではあります。ただし、昨年度前期の必須科目の実施率が100%、全体として97.7%という高率だったことに鑑みると、授業改善のため、これからも多くの先生方に協力を呼びかけてゆかねばなりません。また、アンケート回答率は全体で47.9%と、これも昨年度前期の59.5%とともに、決して高い水準ではありません。ちなみに大学全体の回収率は58.7%でした。不回答率がそのまま欠席率ではないとしても、受講生の授業参加度を高めるための工夫が必要でしょう。

個々の科目の集計結果は **Campus Square** から自由に閲覧できます。ここでは全体を総覧します。まず、授業の満足度の指標となる、「この授業は総合的に判断して自分にとって有意義だった」の平均は、5段階評価で4.13と高い水準にあります。これは大学全体の4.14とほぼ等しく、前期の4.10に対して微増で、大学全体の講義科目の平均4.04を上回っています。12個の設問のうち高得点を意味する4.0以上のものは8項目ありますが、2017年度後期の11項目、2018年度後期の9項目には及ばないものの、昨年度前期の7項目から微増となりました。授業のレベル設定や板書・スライドの見やすさについて、授業改善の努力を続けてゆきたいと思います。

個別項目と「この授業は総合的に判断して自分にとって有意義だった」との相関係数、つまり評価1から5までの回答数の分布が似ているかどうかを確かめると、0.87という高い相関を示しているのが「この分野への興味・関心が引き起こされた」という設問です。全学共通教育の目的は、学部の垣根を越えた幅広い教養を身につけること、よりよく生きるための課題に気づくことにあります。意欲ある学生の皆さんからの高評価を喜ぶとともに、授業の充実に努めてこられた教員の皆さんに重ねて謝意を表します。

課題もあります。本学の奨励するアクティブラーニングと関わる設問「教員は発言・議論等授業参加を積極的に促した」が3.69にとどまり、2017年度後期の3.65、2018年度前期の3.52、昨年度後期の3.61、さらに昨年度前期の3.56と比べて微増とは言いながらやはり低迷

気味です。科目によっては大教室での講義という不利な条件もあるでしょうが、今後も教員の皆さんの促しと工夫を期待します。

スポーツ・ウェルネス実技科目のみの設問「十分に運動することができた」は、2018年度前期の4.73、後期の4.76、さらに2019年度前期の4.77を凌駕する4.80です。「あなたの身体の健康、体力、生活習慣を見直す機会となった」という「生活の質(QOL)」への気づきを尋ねる設問が4.70と、と、2017年度の4.78から2018年度前期の4.56、後期の4.62、2019年度前期の4.63を経て回復傾向にあります。経過を見守ってゆきたいと思います。学生のスポーツ・ウェルネスに対する関心の高まりと、教員の皆さんの熱意とが結ばれることを願います。

ここで2019年度後期に実施されたスポーツ・ウェルネス実技科目に対する授業改善アンケート集計結果をコメントする時点の、ある特別な感懐を記すことをお許してください。2020年4月末現在、成城大学では首都圏の他大学と同様、新型コロナウイルス感染症の拡大防止策のため、スポーツ・ウェルネス実技科目のほとんどを前期休講とし、ごく一部で遠隔授業を実施する見通しです。受講生は自宅にとどまり「十分に運動すること」が難しい状況にありますが、自身の「身体の健康、体力、生活習慣を見直す」ことの大切さを遠隔授業でいかに伝えるか、まさに教育力が問われています。授業評価を慎重に見守りたいと思います。

全学共通教育科目は、基本的な学問を体系的に学べるよう、また今日的な諸問題に学生みずから取り組む助けとなるよう多岐にわたって構成されています。その目標を端的に述べれば教養、知力、スキルをつけること、そして学び続けるために必要な気づきを得ることでしょう。このアンケートをもとに、今後も学生の皆さんの興味・関心を引き起こす良質の授業を提供すべく努める所存です。